

令和8年10月15日

社会福祉法人明徳会 ご利用者様・ご家族様

社会福祉法人 明徳会

理事長 樺嶋潤一郎

虐待の疑いがある事案の発生について

当法人が運営するチャレンジめいとくの里において、職員によるご利用者様への不適切な対応が確認されましたので、下記のとおりご報告いたします。

【事案の概要】

令和8年9月4日（金）の昼食時、チャレンジめいとくの里の食堂において、ご利用者様が他の方の食事を取ろうとされた際、職員1名が注意を促す目的でご利用者様の額を軽く平手で2度叩く行為がありました。

【事案確認後の対応】

9月7日（月）、目撃した職員から施設長へ報告があり、防犯カメラの映像を確認しました。同日、緊急の虐待防止委員会を開催し、当該職員への聞き取りを行うとともに、ご家族へ事案の説明と謝罪を行っております。また、身体的虐待の疑いがある事案として、菊池市及び熊本市の虐待防止センターへ通報しております。

【再発防止に向けた取り組み】

今回の事案を法人内で共有し、全職員を対象とした権利擁護・虐待防止研修を実施するとともに、不適切な支援を見過ごさず、職員間で声を掛け合い速やかに報告・相談する体制を徹底します。当該職員への個別指導を行い、職員会議や虐待防止委員会において再発防止策の実施状況を継続的に確認します。また、対象のご利用者様の心身の状態に十分配慮し、安心して過ごしていただけるよう支援を継続してまいります。

ご利用者様、ご家族様ならびに関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。法人として今回の事案を重く受け止め、再発防止と適切な支援の徹底に努めてまいります。

令和8年10月15日

社会福祉法人明徳会 ご利用者様・ご家族様

社会福祉法人 明徳会
理事長 樺嶋潤一郎

送迎中の事故及び不適切な対応の発生について

当法人が運営するケア・ハピネスにおいて、送迎時に職員によるご利用者様への不適切な対応及び安全上の重大な事案が発生しましたので、下記のとおりご報告いたします。

【事案の概要】

令和8年9月28日（月）の朝の送迎時、ご利用者様が走行中に車両のシフトレバーを動かしてしまう行動があり、車両が急停車する危険な状況が生じました。急停車後にご利用者様が車両のシフトレバー等に触れようとする行為が続いたことに対し、送迎支援員1名がご利用者様の身体を複数回叩き、威嚇するような声掛けを行う不適切な対応が確認されました。また、その後、ご利用者様が停車直前の車両から降りて走り去る事案も発生し、職員が捜索にあたり、約40分後の同日午前10時3分にご本人を発見しております。

【事案確認後の対応】

車載カメラの映像確認と関係職員への聞き取りを行い、9月29日にご家族へ説明と謝罪を行っております。同日、身体的・心理的虐待の疑いがある事案として、熊本市障がい者虐待防止センターへ通報・報告しております。ご本人の心身の状態についても継続して確認しております。

【再発防止に向けた取り組み】

送迎車両と座席配置を見直し、安全な送迎環境を整え、危険な状況が生じた場合は「停車・連絡・応援」を基本とし、運転者が一人で抱え込まない体制づくりを徹底いたします。また、職員が対応に困った場면을共有し、応援を求める行動を実践的に学ぶ権利擁護研修を行います。管理者による車載記録の定期確認、送迎方法・職員配置の見直し、再発防止策の継続的な検証にも取り組みます。

今回の事案を職員個人の問題としてのみ捉えず、法人として管理・監督上の課題も重く受け止めております。ご利用者様、ご家族様ならびに関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。法人として、いかなる状況においても、ご利用者様への暴力や威圧的な対応は決して許さないという姿勢を徹底し、安全と尊厳を守る支援の実現に努めてまいります。